

病害虫発生速報

令和7年4月9日
第1号

対象作物：りんご

発信元 山形県病害虫防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

題名：りんご黒星病の子のう胞子の飛散を確認！
りんごの生育に合わせて防除の徹底を！！

1. 発生概況

- (1) りんご黒星病の子のう胞子トラップ調査の結果、4月7日に子のう胞子の飛散が初確認されている（8か年平均：4月4日、前年：3月26日）。
- (2) 県予察圃場（寒河江市）での「ふじ」の発芽期は3月28日（平年：3月30日）と平年並であるが（表1）、向こう1か月の天候は気温が高いと予報されており、りんごの生育が早まると推察される。
- (3) 向こう1週間の天候は雨の日が多い予報のため、降雨のたびに子のう胞子の飛散が懸念される。

2. 防除対策

- (1) 園内の生育をこまめに観察し、重点防除時期である展葉期（花そう葉が2～3枚展葉した頃、図1）及び展葉10日後に薬剤散布を行う。
- (2) 開花期前後は特に重要な防除時期に当たるので、開花の進捗をしっかりと把握し、開花直前及び落花直後の2回の薬剤散布を行う。
- (3) 黒星病は降雨によって感染するため、散布予定日に降雨が予想される場合は、計画を前倒しして降雨前に散布するとともに、散布間隔が10日以上あかないようにする。
- (4) DMI剤耐性菌が県内で確認されているため、DMI剤（EBI剤）混合剤又はDMI剤に保護殺菌剤（チウラム剤、マンゼブ剤）を加用して散布する。また、DMI剤の総使用回数は2回以内とする。

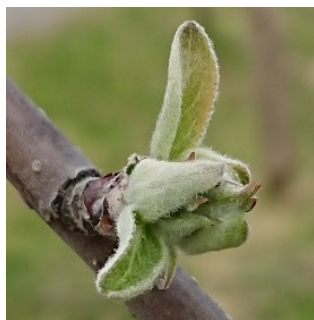


図1 展葉期
(花そう葉が2～3枚
展葉した頃)

表1 りんごの生態（4月2日現在）

品 種	発 芽 期			展 葉 期			開 花 始 期		
	R6	R7	平年	R6	R7	平年	R6	R7	平年
つがる	4/2	3/30	3/29	4/10		4/10	4/19		4/26
秋 陽	4/2	3/30	3/29	4/8		4/8	4/21		4/26
王 林	3/31	3/27	3/27	4/7		4/6	4/17		4/23
ふ じ	4/2	3/28	3/30	4/8		4/7	4/20		4/26

※調査地点：園芸農業研究所（寒河江市）

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。